

第2期かほく市自殺対策計画

基本理念

地域がひとつになって
いのちを支え合うまち かほく



計画の概要

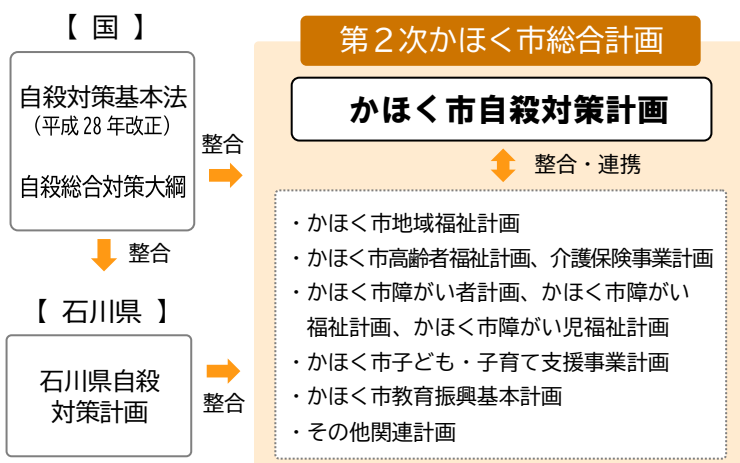
2016年4月
「自殺対策基本法」改正

2022年10月
「自殺総合対策大綱」閣議決定

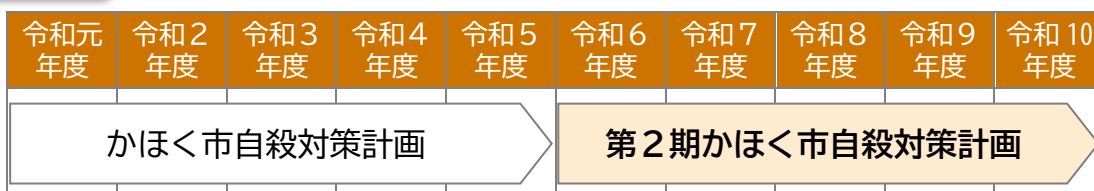
国、県等の動向を踏まえ、大規模災害や新型コロナウイルス感染症の影響による暮らしの不安やこころの悩みなど新たな課題にも対応するため、同法第13条第2項に定める「市町村自殺対策計画」として本計画を策定

計画の位置づけ

本計画は、平成28年に改正された「自殺対策基本法」に基づき、国の定める「自殺総合対策大綱」等の趣旨を踏まえて、同法第13条第2項に定める「市町村自殺対策計画」として策定するものです。



計画期間



SDGsの視点を踏まえた生きることの包括的な支援の推進

令和4年10月に閣議決定された「自殺総合対策大綱」の中では、自殺防止や遺族支援といった狭義の自殺対策だけでなく、「生きる支援」に関する地域のあらゆる取組を総動員して、「生きることの包括的な支援」を推進することが重要であると示されており、この考え方は、「誰一人取り残さない持続可能な世界の実現」を目指すSDGsの理念と合致するものと考えられます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

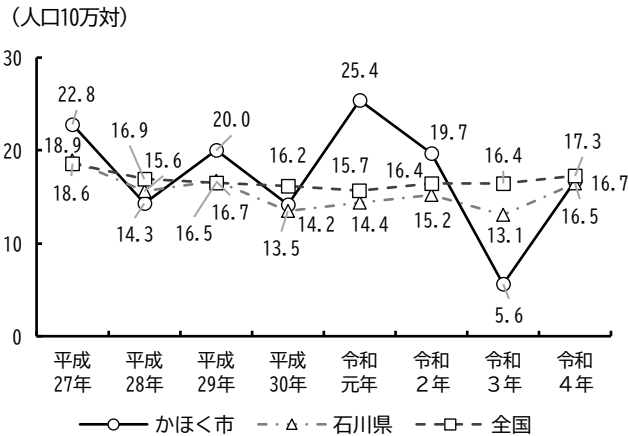


本市の自殺の現状

(1) 自殺死亡率の推移

令和元年では自殺死亡率が25.4と大きく増加し、石川県・全国と比べ高くなっています。

【自殺死亡率の推移】

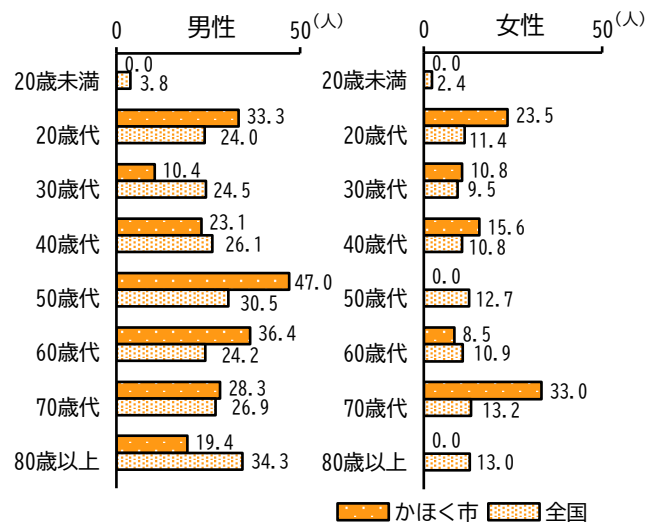


資料：地域自殺実態プロファイル 2022 (平成27年～令和3年)、地域における自殺の基礎資料 (令和4年)

(2) 性別・年代別の自殺死亡率

男性では20歳代、50歳代、60歳代、女性では20歳代、40歳代、70歳代で全国よりも高くなっています。

【性別・年代別の自殺死亡率 (平成29年～令和3年)】



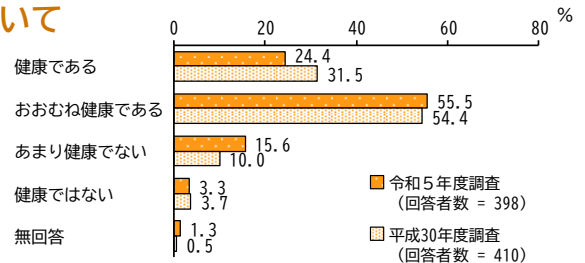
資料：地域自殺実態プロファイル 2022

かほく市における自殺対策の課題について

(1) 「こころ健やかに支え合うまちづくり」について

○一般健診事業などでもうつ病スクリーニングを実施することによりハイリスク者を早期発見し、必要・適切な情報の提供や相談ができる体制の整備等を進める必要があります。

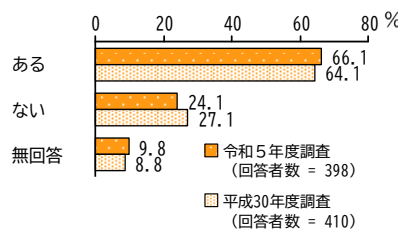
【現在のこころの健康状態】



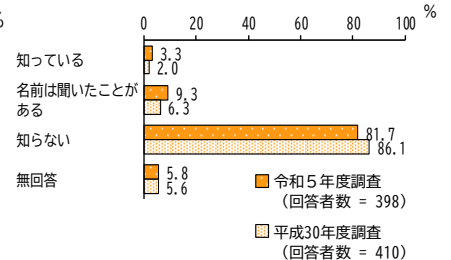
(2) 「適切な相談と支援につなげるネットワークづくり」について

○市民の状況に応じたきめ細かな相談支援を行うとともに、より多くの市民がゲートキーパーとしての意識を持って身近な人を支え合うことができるよう、幅広く研修などを実施する必要があります。

【不安や悩みを相談できる場所】



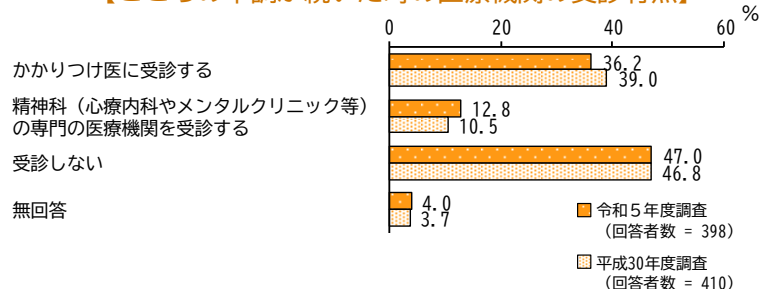
【ゲートキーパーの認知度】



(3) 「生きるための重点的な支援と充実」について

○自殺の危険性を高めている様々な問題に対して包括的に対応することが重要です。また、自死遺族に対する支援の推進を図るとともに、市民に自死遺族の方々への配慮について理解の促進を図ることが必要です。

【こころの不調が続いた時の医療機関の受診有無】



基本目標 1 こころ健やかに支え合うまちづくり

(1) こころの健康づくりの推進

市民の生きがいづくりやこころの健康づくりを支援し、多彩な資料の提供により正しい知識を広め、健康に関する相談や健診を通じて疾病の予防と早期発見を促し、自己健康づくりの普及啓発を行います。

- 主な取組
- ・図書館資料による情報提供
 - ・健康に関する相談と支援
 - ・ハイリスク者の早期発見 等

(2) 自殺予防の大切さの啓発と周知

市民一人ひとりが、自殺に関することを正しく理解し、自殺予防の重要性を認識できるよう継続して啓発を進めます。また、市民の精神疾患に対する理解を深める取組を進めます。

- 主な取組
- ・広報等による情報発信
 - ・かほく市出前講座
 - ・自殺予防普及啓発事業 等

(3) 自殺を防ぐ地域力の向上

自殺を防ぐためには、助けあい・支えあいの地域づくりが重要です。母子保健、高齢者支援、男女共同へ向けた取組等を総合的に実施することで、地域住民同士のつながりを強め、自殺を防ぐ地域力の向上につなげます。

- 主な取組
- ・障害者当事者家族会
 - ・母子保健
 - ・男女共同参画の推進 等

(4) 児童生徒のSOSの出し方に関する教育

児童生徒のSOSの出し方に関する教育において、学校では命の大切さを体験を通じて学び、幼小連携協議会や小中連携協議会を通じて情報共有と円滑な接続を図り、さらに児童生徒の心の変化を観察するために総合質問紙調査を実施します。

- 主な取組
- ・総合質問紙調査
 - ・かほく市いじめ問題対策連絡協議会
 - ・教職員研修事業 等

基本目標 2 適切な相談と支援につなげるネットワークづくり

(1) 相談窓口体制と連携強化

きめ細かな相談支援に努めるとともに、様々な悩みを抱える市民が、適切な相談機関につながり、問題や悩みの解決が図られるよう、相談機関の連携・ネットワークづくりを進めていきます。

- 主な取組
- ・心配ごと相談
 - ・教育相談
 - ・重層的支援体制の整備 等

(2) 「気づき」「つなげる」人材の養成

「ゲートキーパー」の役割を担う人材を養成するため、研修会を開催し、自殺対策を支える人材の確保、育成、資質の向上に努め、認知度を上げるための周知を行います。

- 主な取組
- ・ゲートキーパー養成講座
 - ・介護予防サポーター養成講座
 - ・手話奉仕員養成研修 等

(3) 適切な精神保健医療福祉サービスの提供

自殺につながるこころの問題を抱えていても医療・行政サービスを受けていない人が多くいます。自殺の危険性の高い人を早期に発見し、必要に応じて適切な精神科医療・保健福祉サービスが受けられる体制を整えていきます。

- 主な取組
- ・休日・夜間の精神科救急医療の相談支援
 - ・精神保健対策
 - ・精神科医による個別相談 等

基本目標 3 生きるための重点的な支援と充実

(1) 働く人への支援の充実

仕事と生活を調和させ、充実を感じながら健康で働き続けることのできる社会を実現するため、ワーク・ライフ・バランスの確保や各種ハラスメントの防止・解決のための啓発や相談窓口の周知及び情報提供を行っていきます。

主な取組

- ・市内企業への自殺予防普及啓発
- ・職場のメンタルヘルスの普及啓発
- ・自立支援給付サービス事業 等

(2) 高齢者への支援

高齢者を地域や家庭のなかで孤独にさせないための見守りを行うとともに、いきいきとした心を持続させるために高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進を図ります。

主な取組

- ・いきいきシニア活動推進事業
- ・高齢者の孤立を防ぐ居場所づくり
- ・高齢者総合相談 等

(3) 自殺未遂者や遺された人への支援

自殺により遺された親族等を支援するため、必要かつ適切な支援情報の提供、相談体制の充実に努めるとともに、自死遺族等の自助グループの運営支援やグループ活動の情報提供を進めます。

主な取組

- ・自殺対策連絡会
- ・自殺企図者の相談支援
- ・遺族の方への支援 等

(4) 女性への支援の充実

新たな「自殺総合対策大綱」において、コロナ禍の影響などにより女性の自殺者が増加したことから女性に対する支援の強化が初めて重点施策に盛り込まれ、本市においても、悩みや不安を抱えた女性への支援を充実します。

主な取組

- ・妊産婦への支援
- ・男女差別、短時間労働等、困難な問題を抱える女性支援 等

目標値及び目標指標一覧

	目標指標	現状値	目標値
全体	自殺死亡率（人口10万人対）	22.8 ^{※1}	30%以上減少
	5年間における自殺死亡率の平均値	17.0 ^{※2}	30%以上減少

※1 国の基準に即し、自殺死亡率の現状値は平成27年の数値を使います。

※2 平成29年から令和3年の自殺死亡率の平均値。

目標指標	現状値 (令和5年)	目標値 (令和10年)
自殺予防普及啓発の取組の回数	年3回	年2回以上
ゲートキーパー養成数	132人 (2019-2023累計538人)	年135人以上
市内企業への自殺予防普及啓発の回数	年2回	年1回以上
自殺対策連絡会の開催回数	年2回	年1回以上
不安なことや悩み事を相談できるところがある人の割合	66.1%	75.0%以上
相談したり、助けを求めたりすることは恥ずかしいことだと思う人の割合	19.9%	10.0%以下
地域の人と話をしたり、交流したりする機会がある人の割合	56.8%	75.0%以上
ゲートキーパーの認知度	12.6%	20.0%以上

第2期かほく市自殺対策計画（概要版）

発行年月：2024年3月

発行・編集：健康福祉部 健康福祉課

〒929-1195 石川県かほく市宇野気二81番地

TEL：076-283-7120 FAX：076-283-4116

